

3年生の様子

「日本民家園」遠足（10月27日）

3年の子ども達は、社会科「かわる道具とくらし」の学習の一つとして、日本民家園に行き昔の人々の暮らしにふれてきました。

民家園に行く前に実行委員を中心にテーマを決め、意識して活動しました。



☆民家園遠足のテーマ

みんなでルールを守って
かくグループ力を合わせて
えんそくを楽しもう！！



民家園には、主に江戸時代に建てられたたくさんの古民家があります。

グループでの校外活動は、今年度初めて行いましたが、どのグループもテーマを意識して園内を地図を広げながら仲良く見学していました。

古民家の中に入ると、一昔前にタイムスリップしたかのように。子ども達は、初めて見る不思議な道具に目を輝かせていました。

☆運ぶ道具体験

車などがなかった時代の運搬^{うんぱん}道具{もっこ、天秤(てんびん)棒、背負子(しょいこ)}を体験しました。「よいしょ、よいしょ」と、バランスがくずれないように気をつけて運び、昔の人々の苦労を実感しました。運ぶ体験の他に井戸の水くみ体験も行い、電気やガスのない時代の人々の暮らしぶりを味わうことができました。



☆民家園で見つけたよ



国語「すがたをかえる大豆」で学習したよ。大豆をいって、粉にひいたものが〇〇〇。



民家園で見つけた道具は、社会科「変わる道具とくらし」で学習しているよ。それぞれの道具の名前は、何でしょう。

5年生の様子 【理科 花から実へ】

【顕微鏡を使って花粉を観察】

理科の「花から実へ」の学習で、花粉の観察をしました。まずは、観察するために顕微鏡の使い方を確かめました。接眼レンズ、調節ねじ、スライドガラスなど、新しい言葉をたくさん学びました。グループで協力しながら観察することができました。



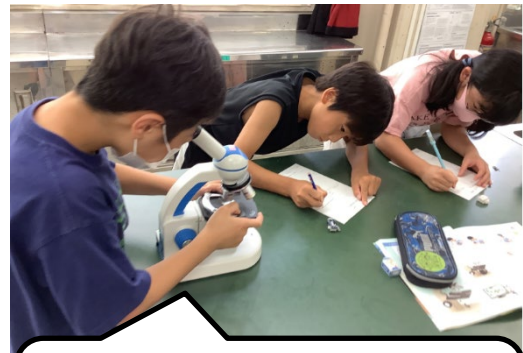
調節ねじでピントを合わせています。これがなかなか難しい。少しずつ回してはっきり見えるところを探します。



ステージに乗せたスライドガラスをクリップで留めています。



「見える見える！」ピントを合わせたらくっきりはっきりと形が見えます。花によって花粉の形が違うことに気がきました。



顕微鏡で観察したらプリントにかきこみました。グループで仲良く交代しながら観察しました。

【どれがおばな？ めばな？】

おばなとめばなの花のつくりを観察しました。観察したのは「冬瓜（トウガン）」と「ツルレイシ（ゴーヤ）」です。理科支援員さんが育てているものを学校に持ってきていただきました。

「さて、おばなとめばなのつくりの違いはどこでしょう。」実際に見たりさわったりしながら、記録していきました。はじめは区別がつかなかったのですが、見比べるうちに違いが分かるようになってきました。ぐんぐん伸びているツルレイシのつるに小さな実が付いていることに気づき、「かわいい。」「食べたい。」などと、思い思いにつぶやいていました。

花の裏側、花の下のところを見ると、おばなかめばなかわかるね。



おばなとめばなどっちなあ。

本当に実がついている！

